

2009年3月期 第1四半期決算説明会

株式会社クレオ
2008年8月20日



決算概要

2009年3月期 第1四半期決算ハイライト



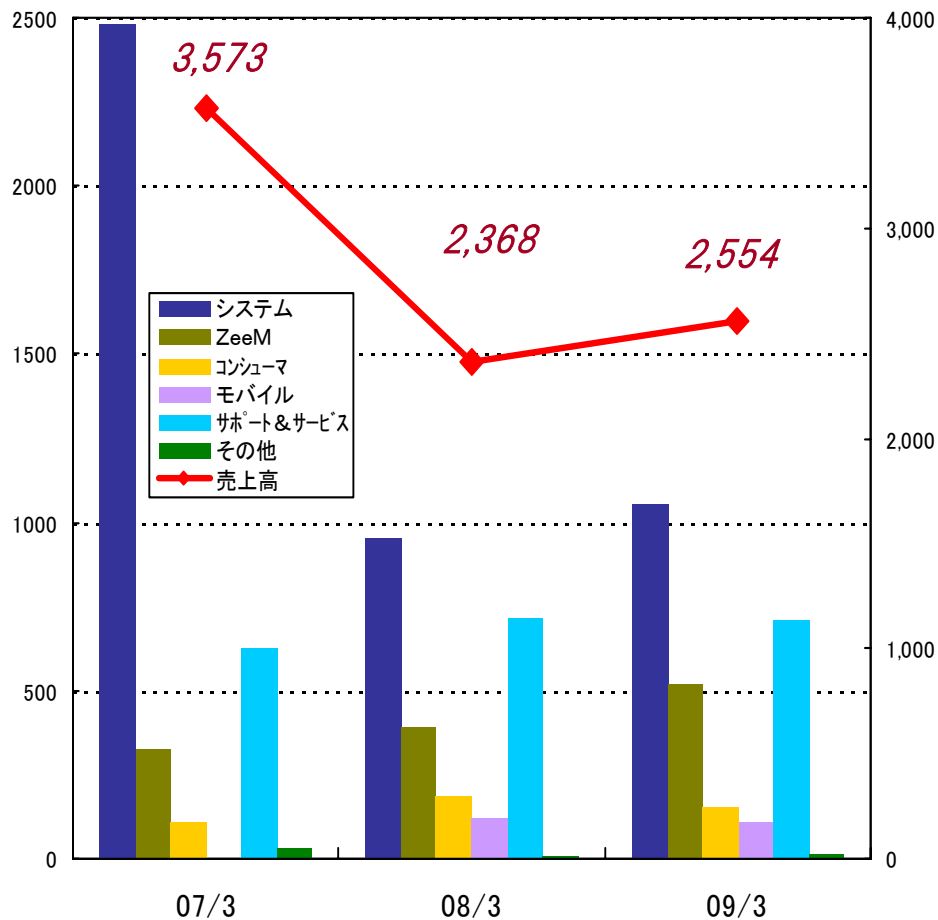
- 当連結第1四半期の売上高は25億54百万円(前年同期比7.9%増)、営業損失は3億1百万円(前年同期は営業損失3億71百万円)、経常損失は2億99百万円(前年同期は経常損失3億71百万円)、四半期純損失は3億64百万円(前年同期は四半期純損失4億円)となった。
- システム開発事業は、プロジェクトの管理徹底とヤフー株式会社向け事業の受注が増加したことにより、売上高10億52百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益1億86百万円(前年同期比102.8%増)となった。
- ZeeM事業は、プロモーション・営業活動の強化による売上の増加と、プロモーション強化による経費の増加により、売上高は5億15百万円(前年同期比33.2%増)、営業損失は2億6百万円(前年同期は営業損失1億93百万円)となった。
- コンシューマサービス事業は、筆まめにおいては順調な出荷であったものの、パーソナル編集長・プロアトラスの販売減少により、売上高は1億54百万円(前年同期比17.9%減)、営業損失は39百万円(前年同期は営業損失16百万円)となった。
- モバイル事業は、新サービスの提供等事業展開を行ってきたものの、一部仕様変更による納期の遅れにより、売上高は1億8百万円(前年同期比10%減)、営業損失は49百万円(前年同期は営業損失22百万円)となった。
- サポート&サービス事業は、一部顧客の取引単価の下落により、売上高は7億9百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は53百万円(前年同期比21.2%減)となった。
- その他事業は、ネットショップ管理専用ソフトの販売増加による売上の増加と、人件費および経費の増加により、売上高は13百万円(前年同期比63.6%増)、営業損失は29百万円(前年同期は営業損失23百万円)となった。

※前年同四半期の売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた数値を用いておりましたが、当四半期より外部顧客に対する売上高の数値を用いております。

2009年3月期 第1四半期決算の概要(売上)



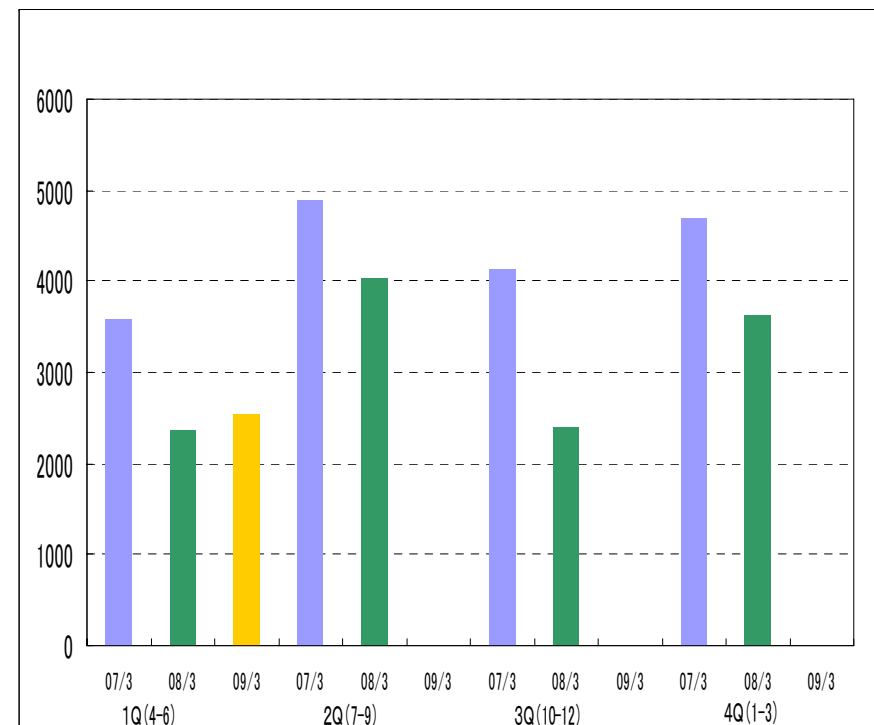
(百万円) 売上高:セグメント別



■07/3期 中央システム売上高 924百万円

■システム開発事業およびZeeM事業の改善

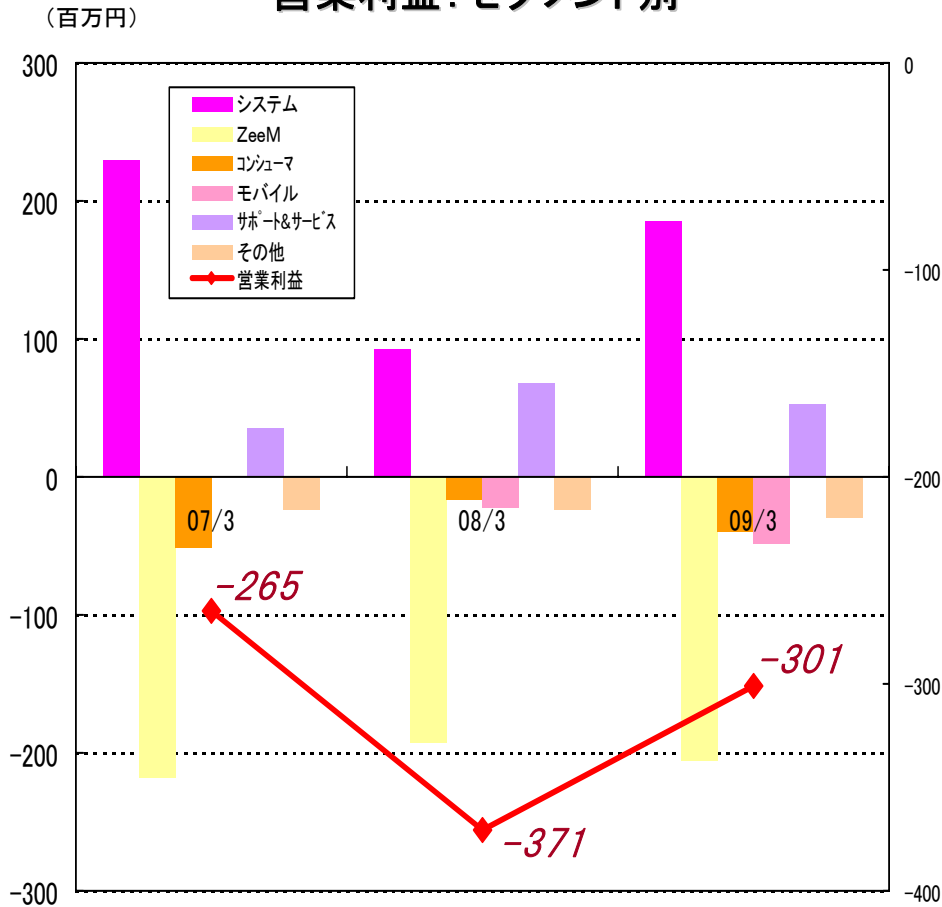
売上高:四半期推移



	1Q	2Q	3Q	4Q
07/3	3,573	4,887	4,123	4,695
08/3	2,368	4,033	2,892	3,599
09/3	2,554	—	—	—

2009年3月期 第1四半期決算の概要(営業利益)

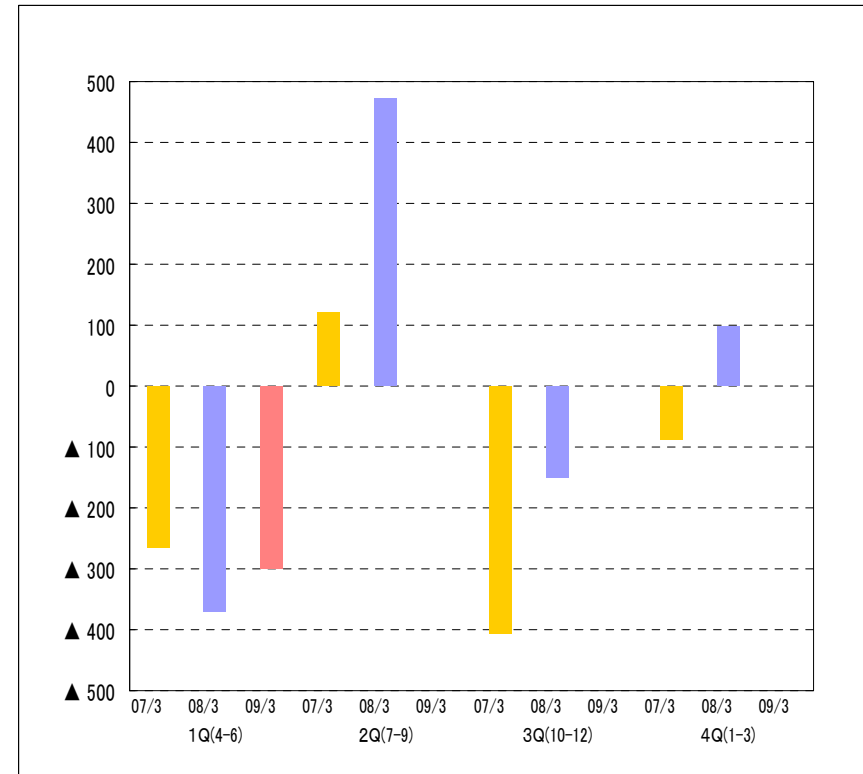
営業利益:セグメント別



■07/3期 中央システム営業利益 △1百万円

■システム開発事業の改善

営業利益:四半期推移



	1Q	2Q	3Q	4Q
07/3	-265	120	-406	-87
08/3	-371	472	-150	98
09/3	-301	—	—	—

2009年3月期 第1四半期損益計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2008/6末			2007/6末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
売上高	2,554	100.0%	186	2,368	100.0%
営業費用	2,855		116	2,739	
営業利益 (△は営業損失)	△301	-11.8%	70	△371	-15.7%
営業外損益	2		2	-	
経常利益 (△は経常損失)	△299	-11.7%	72	△371	-15.7%
特別利益	1		1	-	
特別損失	14		3	11	
税引前四半期純利益 (△は税引前四半期純損失)	△311	-12.2%	71	△382	-16.1%
法人税等	66		37	29	
少数株主利益 (控除)	△13		△3	△10	
四半期純利益 (△は四半期純損失)	△364	-14.3%	36	△400	-16.9%

増減ポイント

・売上高および営業損益については決算ハイライトの通り

・営業外損益:

受取保険金等による収入

・特別損失:

事務所移転費用および
投資有価証券評価損

2009年3月期 第1四半期貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2008/6末			2008/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
資産合計	6,704	100.0%	△922	7,626	100.0%
流動資産	4,681	69.8%	△909	5,590	73.3%
現金・預金	2,128		△516	2,644	
受取手形及び売掛金	1,938		△454	2,392	
棚卸資産	434		141	293	
その他	180		△82	262	
貸倒引当金	△3		1	△4	
固定資産	2,023	30.2%	△13	2,036	26.7%
有形固定資産	269		14	255	
無形固定資産	941		△28	969	
のれん	331		△22	353	
その他	609		△6	615	
投資等	812		1	811	

増減ポイント

流動資産

・現金・預金:

夏季賞与および借入金の定時償還等により減少

・受取手形及び売掛金:

システム開発事業、ZeeM事業の昨年度末検収の入金による減少

・棚卸資産:

システム開発、ZeeM事業等の仕掛増加

・その他:

連結納税導入に伴う繰延税金資産の引当による減少

固定資産

・のれん: 償却による減少

2009年3月期 第1四半期貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2008/6末			2008/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
負債合計	2,340	34.9%	△560	2,900	38.0%
流動負債	1,748		△559	2,307	
買掛金	452		△185	637	
短期借入金および社債	160		△50	210	
その他	1,133		△327	1,460	
固定負債	592		-	592	
長期借入金および社債	418		△2	420	
その他	173		1	172	
純資産合計	4,363	65.1%	△362	4,725	62.0%
資本金	3,149		-	3,149	
資本剰余金	1,527		△2,232	3,759	
利益剰余金	△164		1,867	△2,031	
自己株式	△203		△3	△200	
株式等評価差額金	6		18	△12	
少数株主持分	48		△14	62	
負債純資産合計	6,704	100%	△922	7,626	100%

増減ポイント

負債

・買掛金:

システム開発事業、ZeeM事業の昨年度末
検収の支払による減少

・その他:

夏季賞与の支払および未払金の決済等
による減少

純資産

・資本剰余金:

前(第35期)株主総会決議によるその他
資本剰余金の欠損填補による取崩

・利益剰余金:

前(第35期)株主総会決議によるその他
資本剰余金取崩による振替

2008年3月期 第1四半期キャッシュフロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

区 分	2008/6末		2007/6末
	金額	増減	金額
営業活動CF	△312	△500	188
税金等調整前四半期純損失	△311	71	△382
減価償却費	121	-	121
売上債権の増減額（増加：△）	454	△903	1,357
たな卸資産の増減額（増加：△）	△141	139	△280
仕入債務の増減額（減少：△）	△184	△8	△176
その他	△251	200	△451
投資活動CF	△139	△1,102	963
有形固定資産の取得	△60	△49	△11
無形固定資産の取得	△104	80	△184
その他	25	△1,135	1,160
財務活動CF	△57	78	△135
長期借入金の返済による支出	△52	82	△134
自己株式の取得による支出	△3	△3	0
その他	△1	△1	0
現金及び現金同等物の期末残高	2,028	△733	2,761

増減ポイント

営業活動キャッシュフロー：

- ・システム開発事業の売掛金減少による売上債権の減少と、仕掛減少によるたな卸資産の増加
- ・その他は主に未払金の減少

投資活動キャッシュフロー：

- ・その他は、前期に中央システム株式売却収入があった

2009年3月期の計画

(百万円)


	08/3期 第1四半期	09/3期 第1四半期実績	08/3期 第2四半期累計	09/3期 第2四半期累計	08/3期 通期	09/3期 通期
売上	2,368	2,554	6,401	6,370	12,892	13,680
営業利益	△371	△301	101	△90	49	195
経常利益	△371	△299	101	△103	42	170
四半期純利益	△400	△364	22	△220	△131	10

■第2四半期累計見通し

- ・ ZeeMプロモーション等を上期に集中的に実施することによる費用の先行
- ・ 筆まめ初期出荷を保守的に計上

■通期見通し

- ・ ZeeMの黒字化とシステム開発の利益率改善により、最終黒字化を見込む



第1四半期の進捗および 今後の方向性

第1四半期の進捗状況

第1四半期セグメント別トピックス

全社	6/2:(株)インテックホールディングス殿と包括的業務提携
システム開発事業	PMO活動とヤフー向け受注増加
ZeeM事業	4/7:ビジネスとITのための「NEXTWISE」運営開始 6/20:5種類の新製品、サービスの提供を発表
コンシューマ事業	5/16:「筆まめVer.18夏特別版」発売 5/27:「プロアトラスSV4」発売
モバイル事業	6/11:「クロスモビ」(携帯サイト作成ASPサービス)提供開始
サポート&サービス事業	4/7:自社センター開設

ZeeM 新製品・新サービスについて



1. 6月20日発表の5種類の新製品・サービス

基幹業務パッケージのZeeMシリーズにおいて、SaaSプラットフォームを利用する新サービス、新製品を提供するものです。

☆新製品(リリース時期)

- ①決算開示短縮パック(8月)
- ②パートアルバイトマネジメントパック(8月)
- ③スリムパック(10月予定)

☆新サービス

- ④アウトソーシングサービス(6月)
- ⑤SaaSでのサービス(10月予定)

2. 7月28日発表の「ZeeMサービスデスク」(7月28日発売)

企業の情報システム部門を対象とした月額利用料方式の運用支援ASPサービスです。

セグメント別ポイント

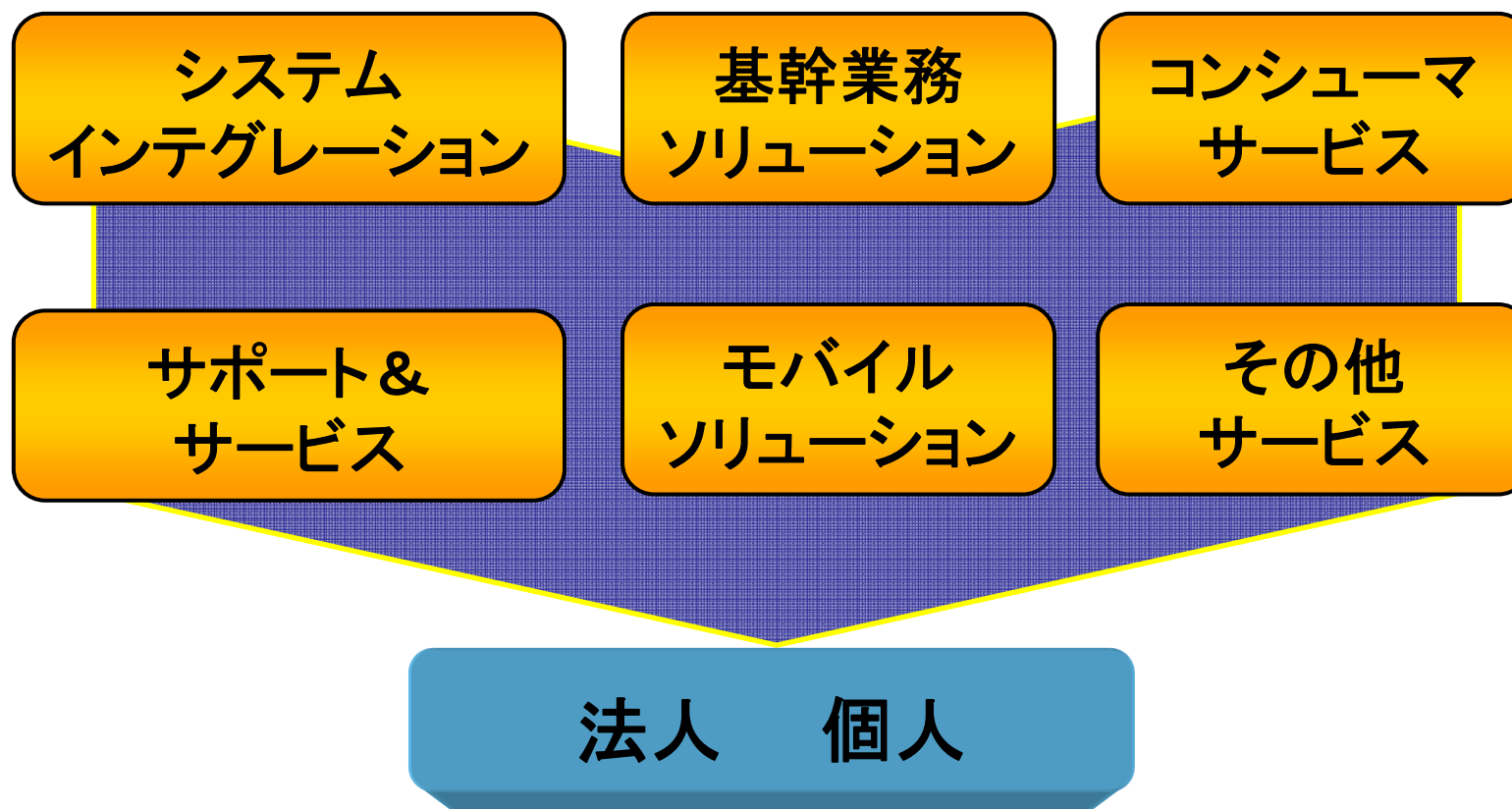


全社	(株)インテックホールディングス殿と包括的業務提携の具体化展開(ZeeM事業、システム開発事業)
システム開発事業	不採算PJ防止に留意 (株)インテックホールディングス殿との協業構築をはじめ、顧客層の変化に柔軟に対応
ZeeM事業	ヒューマンキャピタル2008に出展、大好評 新製品・新サービスの拡販
コンシューマ事業	筆まめVer.19を市場投入、No.1シェア確保 9月上旬新製品発表会予定
モバイル事業	「クロスモビ」(携帯サイト作成ASPサービス)の展開
サポート&サービス事業	お客様のニーズにあわせた小規模コンタクトソリューションの提供

クレオグループ

クレオグループは

- 6つの視点から、独創的なソリューションを提供します。
- ソリューション/製品/サービスを組み合わせ、全ての法人・個人に「便利」を提供いたします。



— ご清聴ありがとうございました —



<IR窓口> 株式会社クレオ 広報IR室 : TEL03-3445-3539

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。